

# 令和5年度一般会計決算 16項目の「議会共通指摘要望」を提出



決算審査特別委員会の様子

令和5年度一般会計歳入歳出決算認定については、6人で構成する決算審査特別委員会が9月6日に設置され、17日、18日、19日および24日の4日間にわたり審査されました。同特別委員会で審査された一般会計決算認定議案は、定例会最終日(10月2日)の本会議において賛成多数をもって認定されました。

本会議における一般会計決算認定議案に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

令和5年度収入は過去最大規模、不用額は30億4千万円、実質収支は23億6千万円もの巨額な余剰金が出たにもかかわらず、住民要望に十分応える税金の使い方になっていません。①福祉タクシー・外出支援サービス高齢者免許返納一時金制度などの内容が市民要望と合致していません。②救急医療の経営赤字がさらに悪化しても1円も対策費を出しません。③市民要望がなくても、いざぎロードと市民が擁護する道路の再整備には5億円を投入します。④流山版DMO株

式会社流山ツリーズムデザインへの公金の流れが不透明で赤字続きでも白みりんミュージアムへの税金投入をやめません。⑤震災による避難者数の想定を2万5千人から1万人へ削減しました。⑥市長選で公約にもなかった幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園方針を一方的に押し付け、市民に大きな混乱と不安を与えました。⑦市内事業者高齢者施設、保育施設、自治会などが金銭的にも大きな負担となる仕組みへ強引に変更した事業系ごみの出し方としました。

## 反対

## 日本共産党

## 各会派等の意見表明

### 決算審査特別委員会 ホームページのご案内

決算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。



流山市議会  
決算審査特別委員会

検索

【決算審査特別委員会】		
委員長	植田 和子	委員
副委員長	うた 桜子	委員
委員	川本 大岳	委員
委員	中川 弘	委員
委員	桑畑 伴子	委員
委員	石原 修治	委員

令和5年度決算認定に関して、数ある要望の中から、特に以下4点を要望し、賛成しました。一つ目は、ぐりーんバスの存続に関して、高齢者福祉や交通弱者支援の観点から、高齢者割引は運賃収入から減額しないような計算方法に変更すること。二つ目は、エネルギー有効活用のため、災害拠点として太陽光発電パネルと蓄電池を併設して災害に備え、日常の電気代削減に努めること。三つ目は、いじめ等防止対策推進事業において、生命の危機が疑われる「い

じめ重大事態」の件数は毎年増加傾向にあることから、児童・生徒や保護者に対し「(仮称)いじめ保身術講座」などの新しい取り組みも検討し、いじめ重大事態に発展する前に何ができるかなど、事業内容の見直し・改善をすること。最後に、消防指令業務運用事業に関して、ドローンの講習だけでなく、姉妹都市における災害時などに、積極的に貢献する機会を増やすこと。今後も引き続き市民の声を聞いて市政に反映できるように取り組んでいきます。

## 賛成

## 流山みらい

【旧割烹新川屋本館】維持管理費の観点からも、早期の方針や計画決定と

【学校関連施設の修繕】建物の老朽化に対して機動的に対応できるように、修繕費用を当初予算から確保するよう要望します。

## 賛成

## 流政会

課題として捉えた事業5点について指摘・要望します。

【路上喫煙防止】継続的な指導や啓蒙とともに、屋外分煙施設の設置など、人目を盗んで吸われない、捨てられないための対策を要望します。

【地域公共交通】市内の全ての地域で、全ての市民が積極的な市民参画によって将来像を共有し、便利であると感ぜられる交通政策の実現を要望します。

【流山版DMOの推進】(特に白みりんミュージアム関連事業)「稼ぐ力」の評価指標(KPI)を設定し明示することで、成果の「見える化」を図り、民間からの投資を呼び込み、地域住民をはじめとする市民の理解を得るとともに、地域に還元できる事業となるよう進めることを要望します。

【流山版DMOの推進】(特に白みりんミュージアム関連事業)「稼ぐ力」の評価指標(KPI)を設定し明示することで、成果の「見える化」を図り、民間からの投資を呼び込み、地域住民をはじめとする市民の理解を得るとともに、地域に還元できる事業となるよう進めることを要望します。

【流山版DMOの推進】(特に白みりんミュージアム関連事業)「稼ぐ力」の評価指標(KPI)を設定し明示することで、成果の「見える化」を図り、民間からの投資を呼び込み、地域住民をはじめとする市民の理解を得るとともに、地域に還元できる事業となるよう進めることを要望します。

### 議会共通指摘要望 (全16項目)

令和5年度一般会計決算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。決算の詳細は、今後発行される「広報ながれやま」をご覧ください。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	(1) 不測の事態を想定して、トイレトレーラーの導入を検討されたい。 (2) 避難所における使用済みラップトイレや使い捨てトイレなど排泄物の処理について、適切に行うための方策を検討されたい。	誰もが自分らしく暮らせるまち	(1) 老人クラブの活性化を図り、新たな地域コミュニティの創出策や孤立解消施策の拡充を図られたい。 (2) 高齢者ふれあいの家支援事業について、代表者会議を開催し、課題把握に努められしっかりと対応されたい。
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	(1) 公民館等Wi-Fi整備事業においては、更なる環境の強化を図り、利用率向上に向けた周知を徹底されたい。 (2) ウィングホール柏斎場の待ち日数が長くなるために、東葛中部地区総合開発事務組合の運営する火葬場以外の火葬場を利用した場合の助成措置を速やかに講じられたい。 (3) 夜間小児救急医療確保に向けては、小児科医の偏在や働き方改革も要因になっていることから、二次医療圏における体制強化に向けて流山市の課題を整理されたい。	子どもをみんな育て育むまち	(1) フレンドステーションや学校内フリースクールのみならず、不登校児童生徒の地域における多様な居場所づくりに向けた検討を開始されたい。 (2) いじめ等防止対策推進事業については、こどもの権利条約について学ぶなど、いじめ防止授業の更なる拡充を図られたい。 (3) 子どもをみんなで育む計画推進事業については、子どもの権利保障の具体化を進めるとともに、全庁をあげて子どもの権利、意見を計画に反映されたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	(1) 事業系ごみの制度変更は、市内経済や自治会等の活動に影響が広がっていることから、広く寄せられた意見を集約し、全庁的な共有を図られたい。 (2) ぐりーんバスの路線維持判断で用いる収支率算出には、高齢者割引が無いものとして算出されたい。 (3) マタニティタクシー利用助成制度については、今後の利用増が見込まれることから、今年度の執行率を理由に予算を減額することのないよう留意されたい。 (4) 地球温暖化対策事業については、省エネや脱炭素への効果的な補助制度となるよう拡充し、制度の周知を図られたい。 (5) 運転免許証自主返納者割引制度については、制度の拡充を求める市民の声が多くあることから、期間の拡充を検討されたい。	体系外 (市総合計画における6本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業)	(1) おくやみ相談窓口運営事業については、利用件数の増加につながるよう、事業者や市民に対して更なる周知を図られたい。

令和5年度歳入歳出決算書は、流山市のホームページでご覧いただくことができます。

令和5年度決算 流山市 検索